

## 第2章 造成・土工計画

## §2. 土質推定

当該地の土質推定は、当該業務の地質調査報告書より行う。  
今回の業務では、ボーリング2箇所を行っている。

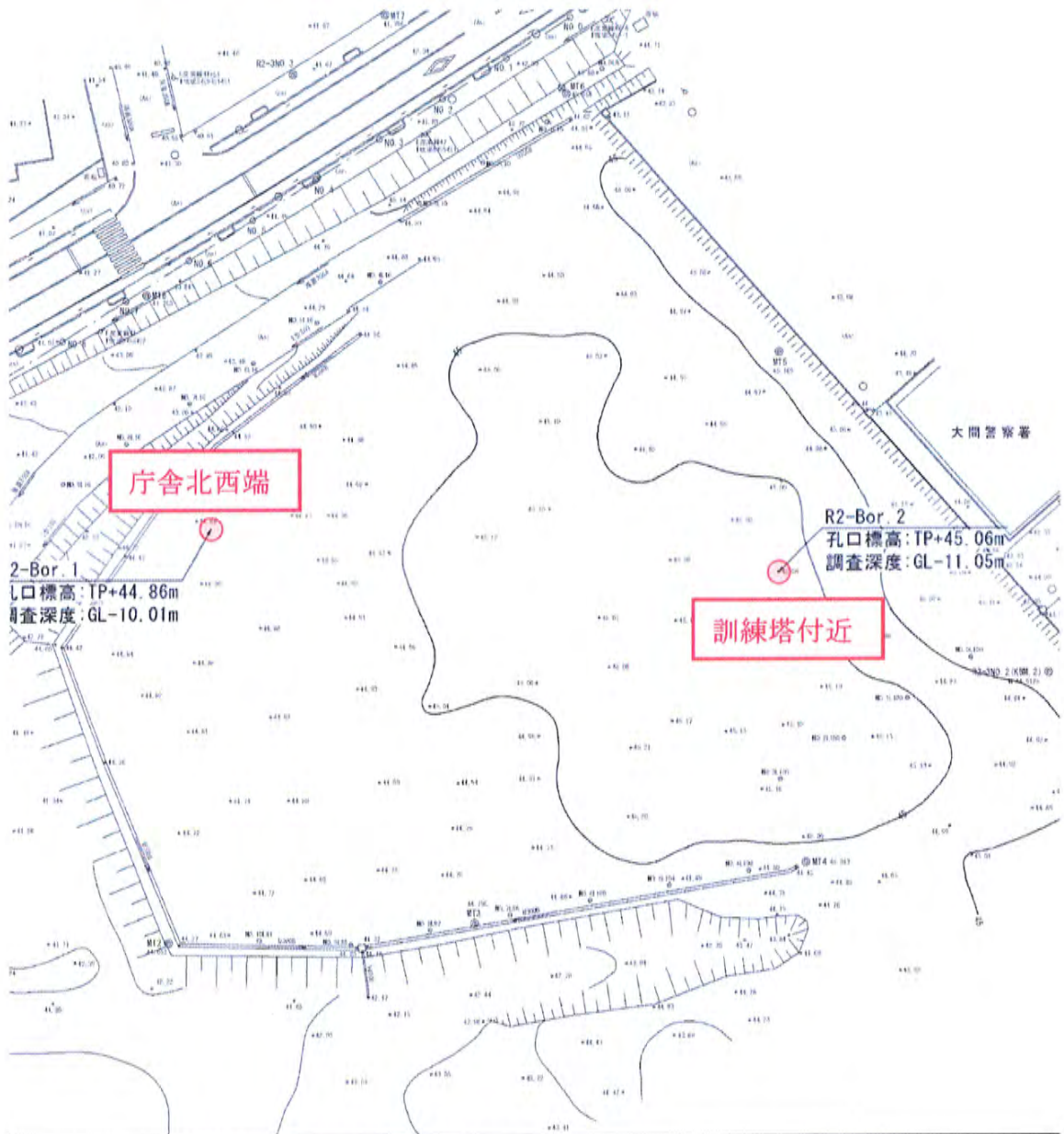


図 4.1.1 調査位置図(縮尺:1/1,000)

## 第2章 造成・土工計画

報告書の地質層序表によると、地表からGLまでは、盛土(Bn)とローム層(Lm)、粘土層(C)はすべて掘削し、更に強風化岩(V-WR)を掘り進むことになる。強風化岩はD等級に分類されていることから、土砂同様、施工はバックホウ掘削とする。下部の玄武岩層はCL~CMに区分されていて、設計N値も54と提案されていることから軟岩とし、ジャンボブレーカー併用の掘削とした。

舗装断面を決定するCBR試験は、今回の地質調査では行われていないので、ボーリング結果から推定する。舗装掘削下面は強風化岩内にあるため、乱さない状態であればCBR=3は期待できる推測する。

表4.1.7 当該地における地質層序表

地質時代	地層名称	地層記号	主な土質岩相	N値	層厚(m)	下限深度TP+(m)	
第四紀	完新世	盛土	Bn	粘性土	6	0.30 ~ 1.50	44.76 ~ 43.36
						ローム層	Lm
	更新世	粘土層	C	粘土	9	1.10	42.26
新第三紀	中新世	強風化岩層	V-WR	粘性土	2~34	4.80 ~ 5.10	39.51 ~ 37.16
		玄武岩	Ba	風化~ 中硬質岩	37~300<	1.05 ~ 2.31	34.85 ~ 34.01

特記・N値60を超える値は換算N値で表わす。

第2章 造成・土工計画

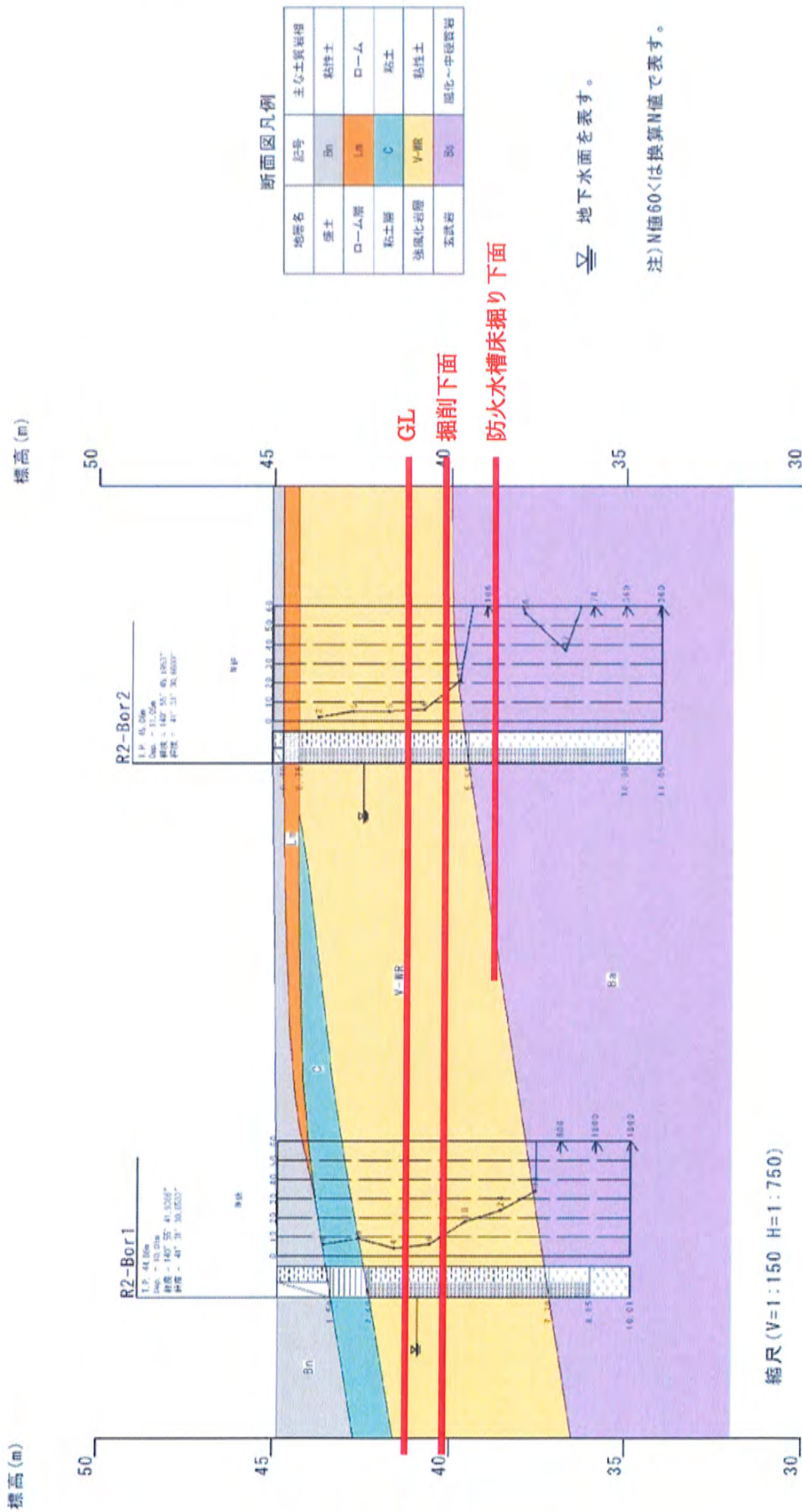


図 4.1.2 地質想定断面図

第2章 造成・土工計画

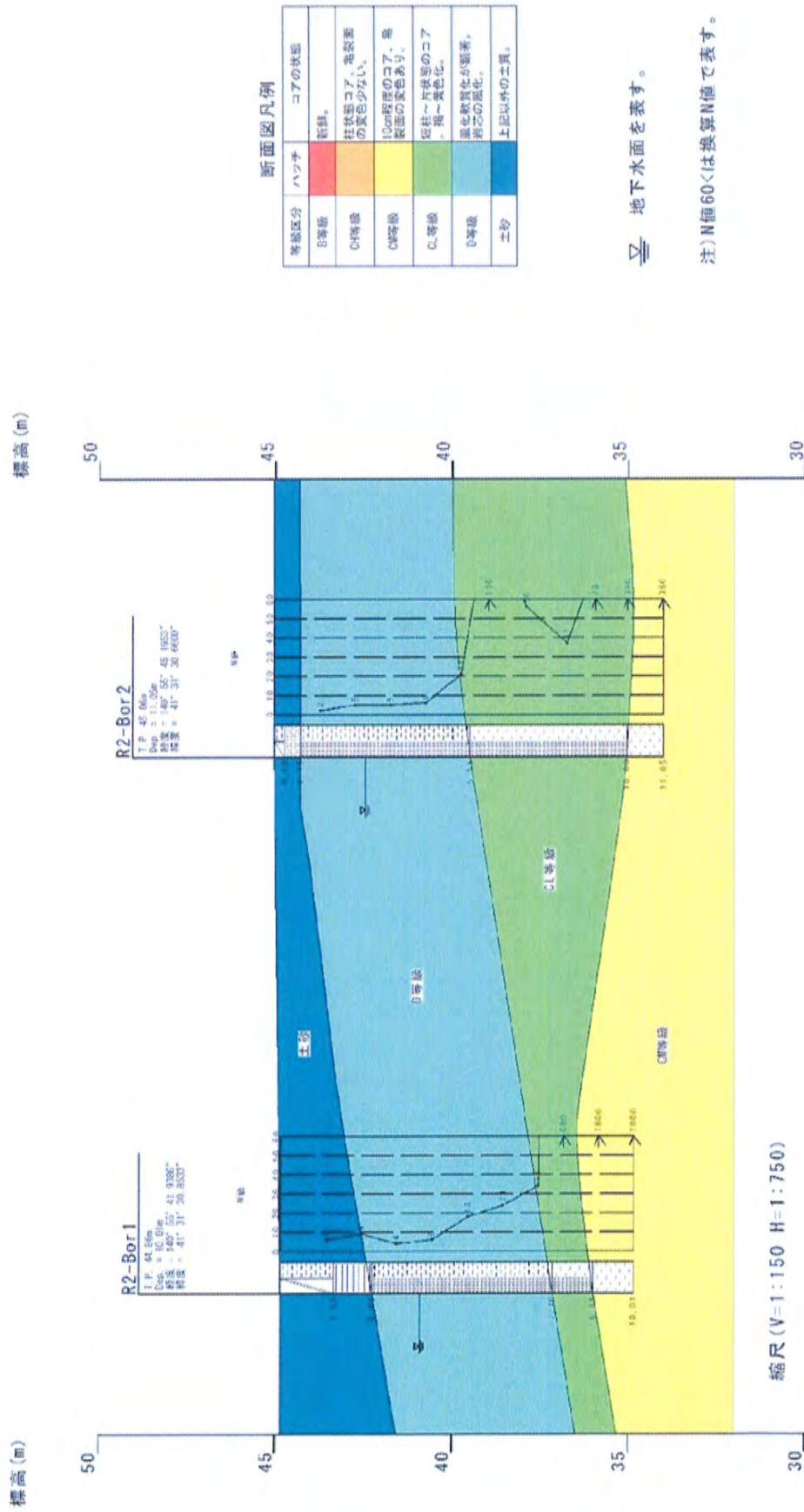


図 4.1.3 岩盤等級想定図